



.....

調べれば調べるほど電磁波の影響への不安は大きくなります。単に子供達だけの問題ではなく、私たち自身の健康にとっても、電磁波の影響を防ぐ対策が必要です。特に病のある人は持つべきではない、という測定値が得られています。

.....

多くのメディアで、検証の第一歩として様々な検査・分析法が試されています。当社でも携帯電話に携帯用フレアーを装着した時としない時の違いを、磁気波動共鳴分析器MIRSや、量子共鳴分析器QRS、さらにドイツ、レヨネックス社製のポータブル波動測定器、レヨメータPS10などで測定した結果、測定値は機器による数値の違いはありますが、全て同じ方向性を示しました。ここでは、量子共鳴分析器QRSの解説と測定結果を紹介いたします。

.....

量子共鳴分析器QRSとは、心電図、脳波の測定と同じように、生体の微弱な電磁的なエネルギー情報を測定・分析する装置で、人体の場合マイナス23~0~プラス23までの47段階で表現されます。プラス23が最も元気な状態で、マイナスが大きいほど人体に影響を与えることとなります。

.....

.....

携帯用フレアーを設置していない携帯電話は通話時の平均値が、マイナス125を示しました。携帯用フレアーを設置した携帯電話の通話時の平均値はプラス19を示し、改善されています。

.....

.....

免疫力低下の平均測定値がマイナス125という数値にも驚きますが、携帯用フレアーの装着で、一挙にプラス19に転じた現象に、QRSの測定者も驚かされていました。しかし、QRSやMIRSの装置は何処にでもありませんし、自分では測定できず、携帯用フレアーの効果を実感できません。

.....